

一般質問

和田
議員

○松浦市歴史観光推進協議会の設立について

質 本市の商工、観光、文化関係という異なる分野の11団体から成る松浦市歴史観光推進協議会が設立され、今後は国の水中考古学術研究センターの鷹島への誘致や、元寇に関する歴史、文化の情報収集や情報発信、元寇を活用した観光産業の振興を行政と連携して取り組むとされており、このことについて市長はどのような思いをお持ちか、お尋ねをいたします。

市長 現在取り組んでいる元寇の遺物の引き揚げや、国、県に対して要望している施設の整備など、元寇の歴史を生かした各種事業を行うためには、市全体で盛り上げていく必要があります。そのためには、市民の皆さまの理解が不可欠であると考えており、そのような中に、市内団体により松浦市歴史観光推進協議会が発足されたことについては敬意を表する次第であります。改めて、市民の皆さまが元寇（蒙古襲来）に対して高い関心を持っておられるということ、さらには、地域づくりに活用していこうという気持ちを持たれていることを再確認いたしました。今

後、市民の皆さまと市が互いに情報交換ができるよう協力体制を取っていきたいと考えています。

○コロナ禍の対応も含めた行政サービスの体制整備について

質 市民の皆さまによりよい行政サービスを提供するという意味において、人事体制に限らず、全体的な体制整備という視点から、今後どのように市役所という組織を運営しようとしていくのか、お尋ねをいたします。

市長 行政サービスの質の低下を招くような人員の削減はあつてはならないと考えています。その上で、事務事業の見直しやアウトソーシング、AI、RPAなどの先進技術の活用による効率的な事務処理体制の構築による行政のスリム化を図りつつ、財政状況も勘案しながら、必要な職員を確保していかなければならないと思います。一方で、社人研が示す人口推計、2030年には1万7767人になると言われており、この数値があつた2015年比67・9%になると言われています。人口規模が小さくなれば、予算の規模の縮小は否めないと思います。市役所の職員や職場環境が市民サービスの質に直結する状況の中で日々の業務によつてその成果を市民に還元し、市民が市役所の仕事ぶりを評価してもらえるようしっかりと力を注いでいきたいと考えています。

一般質問

江
安
議員

○生活保護制度に係る扶養照会について

質 直近3年間の生活保護相談件数などはどうなっていますか。

福祉事務所長 平成30年度、生活困窮の相談190件、生活保護申請51件、生活保護開始32件、生活保護受給者数、7月1日現在で544人。令和元年度、生活困窮の相談177件、生活保護申請47件、生活保護開始27件、生活保護受給者数7月1日現在で477人。令和2年度、12月末現在で生活困窮の相談118件、生活保護申請35件、生活保護開始19件、生活保護受給者数、7月1日現在で433人です。

質 国民の権利である生活保護の申請をためらわせる扶養照会はやめるべきと考えますが、いかがですか。

福祉事務所長 法定受託事務であるため、実施機関の判断のみで扶養照会手続を廃止することはできませんが、申請をためらわせることがないよう、相談者に寄り添った適正保護の実施に努めていきます。

質 扶養照会とは事前に本人の同意を得るべきですがどう考えますか。

福祉事務所長 申請時に扶養照会の同意を含めた調査同意書を提出して

いただいています。

○新型コロナウイルスワクチン接種について

質 ワクチンは本人の同意がある方のみ受けられ、医学的に接種が受けられない方に対し、偏見・差別がないようにと思うのですがどうですか。

健康ほけん課長 誹謗中傷などの偏見はあつてはならないものと考えます。

質 接種の具体的流れはどうなっていますか。

健康ほけん課長 市では個別接種を基本としており、市から各医療機関の接種可能量に応じて配送します。

質 介護施設の訪問系に従事の方は、優先順位に入れてもらいたいと要望がありますが、どう考えますか。

健康ほけん課長 条件付きで優先接種の対象者とされます。

質 基礎疾患のある方は、市外で受けられるとなつていますが、市としてはどうですか。

健康ほけん課長 かかりつけの医療機関が市外の場合、その医師の判断の下に接種ができます。

質 高齢者へ接種券が届いた際、ケアマネージャーなどとの連携は、どうお考えですか。

健康ほけん課長 長寿介護課などとも連携を図りながら対応していきます。

質 予診票と接種券は同時に郵送する考えはありませんか。

健康ほけん課長 予診票は病院に設置することで現在調整をしています。